



降り注ぐ暖かな陽の光

またまたお家の方からのお便りが届きました。

いつも Venture fourth にお付き合いいただき、ありがとうございます。

「いつも読んでますよ！」

というひと声に元気をもらったり、

「この前の～～の内容が本当に良かったです」

という感想を聞いて奮起したり、読んで下さっている皆さんの一つ一つの声がパソコンに私を向かわせてくれる原動力になっています。

最近は、

「うちのおじいちゃんが Venture fourth すごく楽しみにしてるんだよ！」

「私の従妹も読んで、今度『先生に会ってみたい』って言ってたよ。」

などの声を聞かせてもらうことが何度かあり、離れて暮らしているご家族や親せきの方も読んで下さっているんだなぁと嬉しく思っているところです。

もうすぐ 100 号の節目を迎えることもあり、Venture fourth の紙面上で何か面白い企画ができないかと考えているところです。

以前にやったことがある内容で言えば、100 枚の中でのおすすめの号に投票してもらってランキングを作ったり、100 号を振り返っての川柳コンテストなんかも開催したことがあります。

テキストにこだわらずとも、似顔絵コンテストなども面白いと思いますし、QR を使えば映像や写真なども自由に集められるので、フォトコンテストなども面白いかもしれません。

お家の方からも、何かいいアイデアがあればぜひ教えてください。

それでは、今回も 1 通お家の方からのお便りを紹介させていただきます。

渡辺先生、こんばんは！

ラグビーの話、とても感動しました。

そんな歴史があったとは知りませんでした。

私が行きたくて行けなかったのを知っていて、帰ってきてから一生懸命話してくれて、聞いた後 Ventureforce を見てすごくよく話を聞いていたんだな！と驚きました！

答え合わせをしているかのようでした。

子供達にとっても響いた素敵な授業だったのだなぁとじーんとききました。

いつもありがとうございます！

そして今日学校から帰ってきて、今日すごく良い事があったよ！と嬉しそうに、教えてくれたのですが、プロジェクトの授業で

グループを作る際に、どこのグループにも入れなくて一人になっているところを、声をかけてくれた子が何人かいてグループに入れてくれたそうです。

それがすごく嬉しかったと言っていました。

私もとっても嬉しかったです！

長谷川先生からの報告のお話みたいにこんな良い報告が沢山溢れる素敵なクラスになっているんですね♪

PN「ポムポムプリン」さんより

ポムポムプリンさん、素敵なお便りをありがとうございます。

クラスの成長や喜びに共感してもらえたことがとても嬉しいです。

ラグビーの授業は、最後の感想を書くところで筆が止まらない子たちが続出して、授業時間を終えても尚書き続けている子たちがいました。

「書きたいだけ書いていいからね」と声をかけたところ、なんと 3 ページにわたって書き切る子も出て、それだけあの素材が響いたんだなぁと感じたところです。

当日は、お家の方々も 3 名参観に来ていただき、子どもたちが大興奮しながら試合の映像を見て応援したり、最後はシーンとなって紡いできた歴史の重さを感じている場面を共に過ごすことができました。

SOLAN の「いつでも授業参観に来ることができる」というこの仕組みは、本当に面白いなあと改めて感じたところです。

通常ならば「参観日」にしか保護者の方々が来られないところが、学校側から「この日は是非参加してもらいたいです」とお誘いやお招きができるからです。

従来の学校ではありえなかった仕組みだと言えるでしょう。

そして、子どもたちの成長や感動に「共感」してもらえること。

繰り返し書きますが、これが何より尊くて有難いことです。

身近な大人が、自分たちの成長を楽しみに待っていてくれること、そして見守ってくれていることがもたらすプラスの効果は計り知れません。

それは、暖かな日の光が、植物の種や芽に降り注ぐことと似ています。

以前、私はこんな文章を書いてある雑誌に寄稿したことがあります。

トマト、アサガオ、トウモロコシ。

各学級・委員会で一齐に種まきと苗植えが始まった。

芽吹き始めた新緑のコントラストが、学び舎を力強く彩り始めている。

小さな頃、本当に不思議だった“芽生え”の瞬間。

後に、発芽に必要な三条件として「酸素」「水分」「温度」を習った。

しかし、中にはこの三つが十分揃っていても芽を出さない場合がある。

「休眠」と呼ばれる状態だ。

この間、植物は活動を抑え、芽を出すタイミングを見計らう。

そして、休眠を打破する重要な要素が「光」である。多くの種子は、暖かな陽の光を感じて発芽を決断し、生命の息吹を開始させている。

芽を出す時機を伺ってじっくり眠る種は、どこか子どもたちの成長に似ている。休眠を打破し、それぞれの可能性の芽が伸びようとする瞬間を、温かく見守っていききたいと思う。

4-1のみんなの成長を、お家の方々をはじめ、多くの人たちと共に温かく見守り、またその芽吹きや成長を楽しみに待ちたいと思います。

☆↓読者ページはこちらから↓☆ご意見ご感想など気軽にお寄せください

<https://docs.google.com/forms/d/1qqf4cPLcjpcWaimWdu-6IFM73JahODYK4ROldg7jLxM/edit>

